

6月（梅雨時期）にやっておきたい サツマイモ基腐病対策

R4年度 児湯農林振興局 農業経営課

本ほ（茎葉が通路を覆う前の対策）

【定期巡回と発病株の除去】

- 萎れた株や生育の悪い株、葉が黄化又は赤紫色の株を見つけたら、株元を確認し、**茎が地際から黒～褐色に変色した株を抜根**します。
- 抜根した株は、袋に入れてほ場外へ持ち出してください。
- 特に種芋ほ場は、入念に観察をしてください。**種芋ほ場で基腐病が発生すると、来作において感染を広げるリスクが非常に高くなります。



生育の悪い株



基部が黒色～褐色



【薬剤防除】

①発病を確認したら

- 発病株を抜根後、周辺株への感染拡大を防ぐため、**銅剤**散布を行いましょう。

②定植からおおよそ5週間経過したら

- 発生が確認されたほ場では、予防・殺菌効果のある**アミスター 20フロアブル**を散布しましょう。
- 発生が確認されないほ場では、予防的に**銅剤**を散布しましょう。

※薬剤を使用する際は、ラベルの使用方法、注意事項を読み、希釈倍数や使用方法を確認しご使用ください。

【排水対策】

- 排水不良は、基腐病感染拡大の要因になります。雨で土が流亡し、排水路が埋没している場合は堆砂の除去を行う等、適切な排水対策をお願いします。

苗床（効果的な土壌消毒を実施するための前準備）

【残渣処理】

- 梅雨明けまでに、可能な限り種芋ごと土中の残渣をほ場外へ持ち出しましょう。
- 残渣分解促進のため、土壌水分（手で握って団子ができる状態）を確保した上で分解促進資材や堆肥を施用後、3回以上耕耘しましょう。

【機械や資材等の洗浄】

- 発病を確認したほ場で使用した機械や、資材等を別のほ場で使用する場合は、洗浄やケミクロンG等で消毒をします。特に**収穫機やトラクター等の大型機械は、残渣や土が多量に付着し、別ほ場への持ち込みの危険性が高いことから、注意が必要です。**必ず、土や汚れを洗い流して使用してください。